

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1962
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.55, No.4 (1962. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19620401--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1962年 4月号

論 說

生産力の発展と資本制生産の
「内的諸矛盾の開展」……………井村喜代子 1
——『資本論』第三部第三篇第十五章をめぐる——

擬制資本の論理……………飯田裕康 44
——資本の「商品」化過程——

資 料

ジョン・フランシス・ブレイ(四)……………遊部久蔵 70
十八世紀フランスの分益制……………渡辺國廣 81
東独における宗教改革と
農民戦争の研究の現状……………寺尾誠 91

書 評

O. D. ダンカン他著『統計地理学』……………高橋潤二郎 103

新刊紹介

昭和37年2月1日
昭和37年3月1日
昭和37年4月1日
第三種郵便物認可
発行(毎月1日発行) 九〇三号

昭和37年2月1日
昭和37年3月1日
昭和37年4月1日
第三種郵便物認可
発行(毎月1日発行) 九〇三号

三田学会雑誌

昭和三十七年三月号

定価 金九〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 55, No. 3

March, 1962

CONTENTS

	page
Jeune Marx et le saint-simonisme	A. Hirai 1
Adam Smith and Edmund Burke (1)	A. Shirai 27
—On their views on society and economic thoughts—	
John Francis Bray (1)	K. Asobe 49
A Problem on the Study of "Young Marx"	K. Iida 61
Une étude sur l'introduction du Marxisme en France	M. Murata 77
—Jules Guesde—	
Book Reviews	
The formation of French industrial revolutionism, by Keiichi Sakamoto	H. Noji 92
Philosophie und Ökonomie beim jungen Marx, von Manfred Friedrich	M. Kinpara 97

Published for

KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
Keio University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 90 yen

55 卷 **4** 号

新刊紹介

篠原三代平著『高度成長の秘密』……………大熊一郎 108	
——日本経済一五講——	
富田重夫著	
『正統学派・限界主義および	
マルクシズムの体系的理解』……………加藤寛 108	
馬場啓之助著『マーシャル』……………富田重夫 109	
末松玄六著『中小企業成長論』……………佐藤芳雄 110	
社会政策学会編『労働市場と賃金』……………石田英夫 111	

生産力の発展と資本制生産の

「内的諸矛盾の開展」

——『資本論』第三部第三篇第十五章をめぐって——

井村喜代子

はしがき

序節 第十五章における不明確な問題点

第一節 第十五章の主題の捉え方(一)

——第十五章の主題と利潤率の傾向的低落の問題との関連を中心として——

第二節 第十五章の主題の捉え方(二)

——第十五章の分析の検討——

むすび

はしがき

『資本論』第三部第三篇「利潤率の傾向的低落の法則」は、第一部第七篇「資本の蓄積過程」、第二部第三篇「社会的総資本の再生産と流通」とならんで、資本制の再生産の運動を分析したきわめて重要な箇所とみなされている。それゆえ、それらの意義と論理的段階とを明確にし、それらを資本蓄積論・恐慌論において、正しく位置づけるといふことは、資本蓄積

生産力の発展と資本制生産の「内的諸矛盾の開展」